



湯田秀春

議員

生活環境改善工事支援事業申し込み殺到か

町長＝追加予算で対応



申請内容を審査する(社)福島県建築士会田島支部

問 生活環境改善工事支援事業の前評判が高く、申し込みが殺到した場合の対応策は。

町長

3月1日から各地域の総合支援センターで、申請書の配布を行い、多くの町民が訪れています。申請書の配布状況を踏まえ、今定例会に追加議案で提案します。

インターネット公売は

町長＝実施に多くの問題あり

問

21年度に行つた差し押さえ件数・換価金額・換価方法は。

町長

22年3月8日現在15件で68万1、721円です。

差し押さえは、債権が中心で換価手続きは取りませんでした。動産・不動産等は景気低迷のため換価しにくく、即時に滞納税額に充当できる物件を差し押さえました。

問

他自治体では差し押さえた物件の下見会を行い、

インターネット等の公売で実績を上げています。本町でも行うべきでは。

町長

インターネット普及率を考えると、有利な価格で処分するには有効な手段の一つです。土地・建物などは、金融機関の抵当権の問題、美術品は真贋の問題、動産は保管の問題等々があり、インターネット公売は慎重にすべきものと考えています。

医療費抑制は

町長＝予防対策が重要

問

高齢化の著しい本町の国保会計の改善のために、医療費や介護費用の削減は理学療法士の考えも取り入れた予防対策に力を入れるべきでは。

町長

町では栄養改善指導や認知症予防のため、脳元気教室・運動機能向上のための筋力元気教室を4地域で行っています。

予防対策は大変重要な部分なので、今後も多くの方々の提言をいただき、効果のある事業展開を考えています。

その他の質問

・東部聖苑使用料について

一般質問



芳賀沼順一 議員

特養ホームの待機者解消策は

町長 健康体操など楽しく過ごす場をつくる

問 本町の特養ホーム、グループホーム入所待機者数は。

答 今後、待機者が増えると予想されるが、解消策は。

町長 特養ホーム160名、グループホーム11名です。

特定高齢者を把握し、地域包括支援センターが中心となり介護予防事業への参加を勧誘しています。22年度から地区集会所を使用

して高齢者が集い、健康体操など楽しく過ごす場を作ります。また在宅介護サービスを受

けられるようにホームヘルパーの育成、デイ

サービスの充実、ショートステイが利用できる

よう関係事業所と検討をしていきます。

待機者解消と雇用の場として民間の特養ホームやグループホーム、多機能施設を受け入れる考えは。

問

小規模多機能型施設をはじめとした地域密着型の介護サービスが注目されています。地域の特性に応じたサービスを受けられる地域密

町長

小規模多機能型施設を

65歳以上の高齢者で、近い将来に要支援、要介護になる可能性のある人

用語

特定高齢者

65歳以上の高齢者で、近い将来に要支援、要介護になる可能性のある人

着型民間施設導入について検討を加えています。

問

仮に民間の特養ホーム50床施設を受け入れた場合、本町の介護保険料は一人当たりどの位上がりませんか。

町長

4300円で、22年度介護保険料3、060円に加算すると月額介護保険料は3、490円です。

紅葉を活用した観光と交流

町長 里山に紅葉樹の植林をして

は。また、友好都市と森づくりを進めては。

町長

紅葉樹を植林すること、本町の美しい里山を取り戻すために大変有効です。行政と住民

協働の里山づくりで友好都市と新たな交流を進めます。

ゴルフ場、グラウンドゴルフ愛好者に開放を

町長 地域のゴルフ場として喜ばれる事業を

問

たかつえカントリークラブでグラウンドゴルフをした人から、大変快適だったと聞きました。今後の活用計画と芝への影響は。

町長

コースの芝に影響はありません。22年度事業計画は本年度事業内容を検証しながら地域のゴルフ場として多くの町民に喜ばれる事業を実施します。



グリーンの感触を楽しむグラウンドゴルフ愛好者

その他の質問

- ・高齢者対策について
- ・副町長人事について